

[競技注意事項]

1. 本大会は2017年度日本陸上競技連盟規則ならびに大会申し合わせ事項によって行う。
2. 各校引率顧問は、2日間とも競技開始30分前までに受付を済ませておくこと（顧問の受付がない場合は、選手の大会参加は認められない）。
3. ナンバーカードについて
 - (1) ナンバーカード（ビブス）を胸部・背部に確実につける。ただし、走高跳・棒高跳は胸・背いずれか一方でよい。走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
 - (2) トラック競技においては腰ナンバーカードを使用する。招集時に受け取り右腰につける。
 - (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、係に返却すること。
 - (4) 3000m 競歩については、指定されたレーン番号のナンバーカードを胸と背につける。
4. 招集について
 - (1) 招集所は器具庫前に設ける。
 - (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	<招集開始時刻>	<招集完了時刻>
トラック競技	40分前	20分前
跳躍競技	50分前	30分前
（棒高跳のみ	90分前	60分前
投てき競技	50分前	30分前

※ リレー種目のオーダー用紙の提出については以下のとおりとする。

予選・決勝とも：招集完了時刻の1時間前までに提出する。

オーダー用紙は招集場所で配付する。選手のユニフォームは統一すること。オーダー用紙提出後の変更については、総務・トレーナーの了承のうえ、招集所に申し出ること。それ以外の変更については、一切認めない。

- (3) 招集完了時刻に遅れた場合は棄権と見なし、出場を認めない

5. 競技場への入退場について

- (1) トラック競技
 - ① スタート地点に10分前には行き、準備すること。
 - ② スタート練習は、役員の指示に従って行うこと。
- (2) フィールド競技
 - ① 招集完了後すみやかに競技場所へ移動し、競技役員の指示に従って競技場内で練習を行うこと。競技場以外での投てき練習は一切禁止とする。
 - ② 特に、投てき競技については危険をとまなうので勝手な行動は慎むこと。
 - ③ 退場は、跳躍および投てき競技役員の指示・誘導により行う。

6. 走路順・試技順について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の番号順とする。
- (2) 欠場者のレーンはあける。ただし、800m以上のトラック種目については係の指示に従うこと。
- (3) 選手の変更は一切認めない。ただし、リレー競技はこの限りではない。

7. 競技について

- (1) フィールド競技における競技開始前（招集所から入場後）練習は競技役員の指示によって行う。
- (2) 同一選手がトラック競技とフィールド競技を同時刻に兼ねて行う場合は、トラック競技を優先とし、フィールド競技は同一ラウンドにおいて競技役員の許可を得て順序を変更することができる。
- (3) 男子走幅跳、女子走幅跳はA・Bピットで実施する。
- (4) 男子三段跳の踏み切り板は1年生9m、ジュニア10mとする。また、女子三段跳の踏み切り板は1年生8m、ジュニア9mとする。
- (5) セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分の割り当てられたレーン<曲走路>を走るものとする。

- (6) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については以下のとおりとする。ただし、審判長の判断で変更もあり得る。

走高跳	男子	練習(1.40)	1.45	1.50	1.55	1.60	……	1.90	以後 3cm
	女子	練習(1.15)	1.20	1.25	1.30	1.35	……	1.55	以後 3cm
棒高跳	男子ジュニア	練習(2.80)	2.80	3.00	以後 10cm				
	男子1年	練習(1.80)	2.00	2.20	以後 10cm				
	女子ジュニア	練習(1.80)	2.00	2.20	以後 10cm				
	女子1年	練習(1.80)	2.00	2.20	以後 10cm				

- (7) 棒高跳については天候不良の場合、2日目に変更することがある。

8. 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の決勝進出者は、アナウンスすると共に玄関付近の掲示板の掲示によって発表する。
- (2) トラック競技で同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を優先する。
- (3) トラック競技のプラス取りの決定については、記録の上位の選手から取る。同組同記録の場合は前項(2)を適用する。組が異なる場合の同記録については1000分の1秒までの判定により進出者を決定する。それでも決まらない場合は抽選を行う。

9. 上訴について

抗議にあたっては、記録が掲示された時間を基準とし、次のラウンドがある場合は15分以内、ない場合は30分以内で本部（総務員）に口頭で申し出る。

10. 競技場使用について

- (1) スパイクピンの長さは9ミリ以下とする。ただし、走高跳・やり投は12ミリ以下とする。
- (2) 競技に使用する器具はすべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、「棒高跳用ポール、やり」については個人の物を使用することができる。「やり」は、競技開始60分前から45分前までに器具庫前にて検査を受けること。
- (3) 応援はスタンドから行うものとする。特に本部前・フィニッシュ付近・トラックの周りでは行わないこと。
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。特に、近隣のコンビニ、最寄駅には絶対に捨てないこと（厳禁）。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないように互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) 尾張支部の学校はスタンドの屋根のある部分に控えテントを設置しない。
- (6) 競技場閉鎖時刻は18時30分です。競技終了後速やかに競技場外へ移動してください（場内の掃除ができなくなります）。
- (7) 清掃について

清掃当番校 1日目：東海南・内海・滝・新川

2日目：横須賀・大府東・一宮・津島東

該当校は競技終了後、ただちに本部室前に集合してください。

11. ウォーミングアップについて

- (1) 競技場での朝の練習は2日間とも8時から9時15分まで可能とする。長距離が1・2レーン、ハードルは外側2レーンを使用する。ハードルを使った走練習はトラック以外では禁止する。特に、ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に必ず従うこと。ジョギングに関してはトラックの内側で投てき準備の支障にならないように行うこととする。
- (2) 競技中のバックストレートでのウォーミングアップは、トラック競技の進行上支障のないことを条件に6・7・8レーンを使用することとする。ただし、種目によっては本部の指示に従うこと。
- (3) 競技場以外での投てき練習は一切禁止とする。
- (4) 投てき競技における競技前・競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないもの

に限る。

(5) やりの突き刺し練習、砲丸の打ち付け練習は禁止する。

12. 電気計時・写真判定装置が作動しなかった場合の措置について

①短距離種目

判定可能なレース結果より上位8名を選出する。それに判定できなかった組の選手全員を加えて決勝(タイムレース決勝方式)を行う。

②中・長距離種目

周回記録員の手動計時によるバックアップ計時を採用する。

13. その他

(1) 氏名、所属等がプログラムの印刷と異なる場合は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正すること。

(2) 競技中に生じた事故について、応急処置はするが以後の責任は負わない。

(3) 表彰については1年生大会のみ各種目(リレー種目も含む)6位まで行う。

(4) 競技中にカメラ・ビデオの映像を競技に支障がないようにスタンドから見せることができる。ただし、競技場に持ち込むことはできない。もし、競技に支障をきたした場合は直ちに禁止とする。

(5) フィールド競技にオープン参加の選手については、試技を3回とする。

(6) カメラ・ビデオ等の撮影について

◆ 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※ 撮影を許可するエリアは、スタンドのみとします。禁止された区域での撮影はできません。

- ・ 各種目のスタート後方
- ・ 走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
- ・ 走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)

※ 保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。

※ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っている間や、身体を動かしているなどの準備の行動の撮影は禁止します。

※ 他人に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。